

眺洋山

2022
1月

学校だより ちょうようざん

学校だより以外の子ども様子も盛りだくさん!
ホームページはこちらから→



学校教育目標
自立・共生・自己実現



大豆の探究 味噌づくり!

令和3年12月15日発行 福山市立常石小学校

INFORMATION

5校交流 毎月いろいろ開催中

千年小学校、能登原小学校、内海小学校、内浦小学校、そして常石小学校による5校交流が11月、12月にも行われました。今回は、1,2年生がおもちゃ祭り、3年生がドッジボールや鬼ごっこ、6年生がレクリエーションといった内容でした。子ども達の中からは、「今回も楽しかった」「新しい友達ができた」という声も聞こえました。

現状、常石小学校の子ども達は、常石ともに学園に通う予定の子が多いのですが、それでも同じ地域に住む仲間です。顔見知りになるのはとてもいいことです。今後も定期的に交流がありますので、さらに互いの関係がよいものになればと思います。



12月2日の中国新聞にも取り上げられました

通学路を守るために 右折禁止規制の設置

学校の西側の道路ですが、朝の時間帯は、通勤する車も多く、三叉路の辺りが渋滞することがあります。その際、渋滞を避けるため、脇道にショートカット目的で侵入する車がありました。ところが、その脇道は子ども達の通学路になっており、これまで危険な場面が何回かあったという声をいただきました。

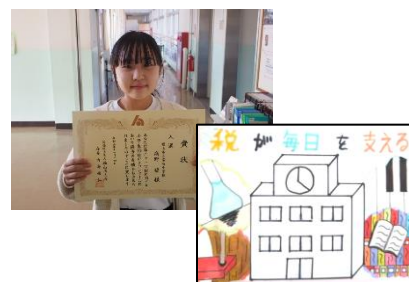
そこで、このたび、その脇道は、時間帯指定による右折禁止規制となることが決まりました。朝の子ども達の通学時間帯は、車の侵入ができないということです。

今回の措置に関しては、自治会、公民館の方々の多大なるご協力と、該当地域の方々の御理解、そして警察や市、自治会、土木常設員の方々のお力によるものです。皆様ありがとうございました。



税に関する小学生絵はがきコンクール入賞

税に関する小学生絵はがきコンクールで、6年生の高野碧さんが入賞しました。また、環境と健康のポスター・標語コンクールでは、学校奨励賞として図書券をいただきました。有効に使わせていただきます。ありがとうございました。



善行市民賞「ばら賞」おめでとうございます

本校の教育に多大なるお力添えを頂いております神原久美子さんと、子ども達の安全を長年見守ってこられた平田弘美さんが、この度福山市の善行市民賞「ばら賞」を受賞されました。おめでとうございます。福山市発表の受賞理由は以下の通りです。

神原久美子さん	コーラス講座、子どもたちへの歌唱指導など、音楽を通しての新たな地域文化の創出とまちづくりの担い手育成に大いに貢献している。
平田弘美さん	児童の登校時の見守り、交通指導、いじめ相談、ドラム教室の開催などを通して、青少年の健全育成に大いに貢献している。

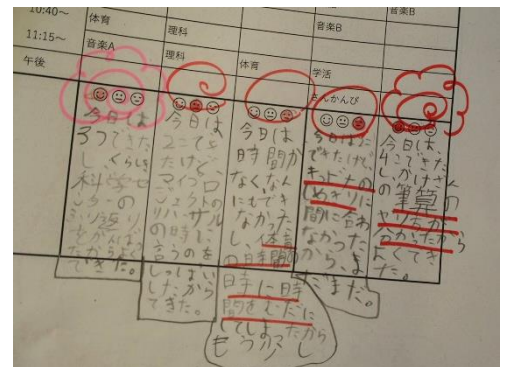
リフレクションする

イエナプランの原則 20 (前略) 実際にやってみるといことと、それについてよく考えてみることを、いつも交互に繰り返すという態度をもっていきなくてはなりません。

本校でよく使う言葉の一つに「リフレクション」というものがあります。「リフレクション」とは、もともと「反射」や「反響」といった意味ですが、「ふりかえり」という意味もあり、最近では、様々な職場でも使われる言葉となってきました。本校でも「ふりかえり」の意味で使っています。

4月の学校だよりや学校要覧の中で紹介しているので、すでにご存じの方もおられると思いますが、本校では子どもたちに身に付けさせたい力の一つとしてリフレクションできる力を挙げています。このリフレクションできる力ですが、具体的にいうと、次のようなことができる力だと考えています。

- ・何が起きたのかを言える
- ・自分が何を学んだかを言える
- ・フィードバック(改善点や評価)を受け止める
- ・フィードバックを与える
- ・自分の行動を評価する
- ・自分の仕事について自分で見直し評価する
- ・自分自身の発達を人にプレゼンテーションする



低学年のリフレクションの記述

本校で行われているブロックアワーの時間は、自分で計画を立て、自立的に学ぶことを基本としています。この学び方にとって、リフレクションはとても重要です。なぜなら、今日の自分の学び方はどうだったのか、今回試してみた方法はどうだったのか、なぜ学習が予定通りに進まなかったのかなど、様々な角度から何度もリフレクションを繰り返していくことが、自分に合った方法やペースを見出すことにつながり、ひいては自立した学び手を育成していくことになるからです。

現在、本校では、一日の終わりや週末に学年に応じた形でリフレクションを行っています。また、下校前にみんなでサークルになり、互いに語りながらリフレクションを行うこともあります。まだまだ充実しているとはいいがたいところはあると思いますが、よりよいものとなるよう取り組んでいるところです。



先生と対話しながらリフレクション

先日、自分の漢字学習の進め方についてリフレクションし、次のように書いた高学年の子がいました。「9月は単語帳で覚えようとしたけれど、私はプリントをやる方が点数が上がるのが分かった。合格のためにいつもよりももう少し勉強する時間を増やしたいと思う。」

短い記述ですが、そこからは、その子がリフレクションしながら自分に適している学び方を見出していることが感じられます。早速、「こんなリフレクションがあったんだけど」と先生が紹介し、みんなでよりよいリフレクションについて改めて考える時間を持ちました。

今月末に行う三者懇談も、いわばフレクションの場です。自分が何を学んだか、自分の学びがどうであったか、自分は何が成長したのか。ポートフォリオを使いながら子どもたちがプレゼンテーションします。まだまだつたないかもしれませんが、これを繰り返すこともリフレクションする力を高めることにつながります。ぜひその子なりのリフレクション、そして成長を温かく受け止めていただければと思います。

常石小学校写真館 12月の子ども達



おもちゃ祭り開催!



いろんなコーナー作りました



5校のみんなとドッジボール



楽しかった～



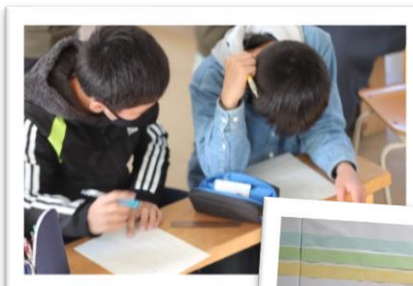
ゲストティーチャーとみそづくり



のびっこのスマイルスーパー開店



自作のSDGsかるたで遊ぼう!



どうやればいいのか



算数で意見交換



高学年でTVづくりに取り組んでいます



校舎の改修もいよいよ1階に